



# もしものとき 地域の防災活動が 力を発揮します！ 発災対応型防災訓練への挑戦



## はじめに

それぞれの町内会・自治会では、「自主防災組織」を中心に、防災訓練をはじめ、日ごろから、地域の安全のために様々な取り組みを行っています。

今回は、防災訓練の一つとして最近注目されている「発災対応型防災訓練」についてご紹介します。

## 発災対応型防災訓練とは

従来の防災訓練は一般的に「会場型防災訓練」と呼ばれます。これは、訓練参加者が、避難場所である学校や公園に集合し、全員で初期消火訓練や応急救護訓練などを行う訓練方法です。

「発災対応型防災訓練」は、「シナリオのない防災訓練」と呼ばれ、普段生活している市街地（道路や空き地など）が訓練会場となります。

訓練開始の合図とともに、町内の各所で「火災」「建物倒壊」「負傷者発生」といった模擬災害の発生を想定します。

住民の皆さんは、自宅の

安全確保、周囲の安全確保をしたのち、避難する途中で模擬災害に遭遇します。

住民一人ひとりが、その場の状況を判断して、近所の人と協力して、初期消火や救助活動、応急救護を行う訓練です。

## 発災対応型訓練への挑戦

市内では、すでにいくつかの町内会がこの訓練に挑戦しています。

訓練を実施した町内会では、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識の高揚や、会員の団結力の強さを養う良い機会となったようです。

その訓練の様子をご紹介します。



倒れたブロック塀の下に人が！救出訓練

こうした突発的に発生する困難な状況に、臨機応変に対応する力を養うのが発災対応型訓練の特徴です。

これまでの会場型防災訓練同様、発災対応型防災訓練も、万が一の災害に備えるとても有効な訓練方法の一つです。



けが人を助ける！応急救護訓練



建物火災に遭遇！消火訓練

羽村市の町内会連合会をはじめそれぞれの町内会・自治会では、地域の方々が力を合わせて、様々な取り組みを行っています。

今回は防災の視点で取上げましたが、こうした機会を通じて、より多くの皆さんにご参加をいただき、共に活動することで、地域の力をもっともっと強く大きくすることができるはずです。

地域の活動に、皆さんも積極的に参加しましょう。